

そわにえ Soigner

第4号

「Soigner（ソワニエ）」とは、「世話をする・手当てする」という意味のフランス語です。

2005年12月20日発行



発行／東京訪問看護ステーション協議会（責任者 森山弘子）
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町4-17
社団法人東京都看護協会内
TEL：03-5229-1534・1520/FAX：03-5229-1524

INDEX／	小笠原より……………⑤
永田先生より……………①	My Pet & Boom! ⑥
情報開示のモデル事業②	委員会からの報告…⑦
ブロック支援委員会…③	投稿規定、俳句、
ステーション紹介…④	編集後記他……………⑧



作者：6ページ「My Boom!」参照

さんぽみち

一瞬の深さ

認知症介護研究・研修東京センター

主任研究主幹 永田久美子



木枯らしが吹く季節になり、訪問を終え職場や家路に帰るのも気ぜわしくなっている方も多いと思います。先日、あるケアマネジャーさんから一人暮らしの認知症のお年寄りがふともらした言葉を聞く機会がありました。

「みんなすぐいなくなる。灯が消えたよう……」、と。

ご本人がなんとか自宅で暮らし続けられるように、ケアマネジャー、かかりつけ医、訪問看護師、複数のヘルパー、入浴サービスの職員が時間を縫って懸命な訪問を続けているケースだそうです。「出来る限りのことをみんな頑張ってるんですが、どうしても時間が限られていて……」と苦しそうな表情のケアマネジャーさん。

そばにいてほしい家族も遠く離れ、かつては出入りしていた近所の人や友人の足も遠のいて、在宅ケアの職員が数少ない訪れ人であり、話相手であるお年寄りが増えています。お年寄り、特にものごとがあいまいになっていき不安

と孤独感が強い認知症の方にとって在宅ケアのスタッフは、医療福祉関係者である前に「自分のそばに来てくれた人」「安心や心地よさ、自分が自分であることを実感させてくれる頼みの綱」であるようです。

別の認知症の方がこんな言葉も伝えてくれています。「先のことも、昔のこともよくわからない。でも(今)こうしていると嬉しい」。私たちはとかく先を急ぎがちで、せっかく本人のそばにいる「今」が心ここにあらざる、になりがちです。そのことを認知症の人は鋭く見抜き、「すぐ帰る」「来ていない」という印象を刻んでしまっているかもしれません。

一瞬一瞬を深く生きているお年寄り。限られた時間ではありますが、訪れた時には、その人に本当の意味で向き合う一瞬を過ごし、暖かな灯の余韻を残して去りたいものです。

「介護サービス情報の公表」のモデル事業を受けて

平成16年・17年でそれぞれのサービスについてモデル事業が行なわれ、今回、当ステーションが「訪問看護」のモデル事業を受けましたので、ご報告いたします。

平成18年4月から「介護サービス情報の公表」が義務付けられます。

来年度実施予定の「介護保険法等の一部を改正する法律案」で「サービスの質の確保・向上」の中で情報開示の標準化と表記されているものが今回の「介護サービス情報の公表」といわれているものになり、定期的に行なわれることとなります。

モデル事業として、各都道府県より3事業所ずつ選出され、調査を受け、その後検証会が行なわれました。検証会では、モデル事業を受けた事業所と調査員の方が「この質問はわからなかった」「このときの判断に悩んだ」など討議したものを東京都がまとめ厚生労働省のほうに報告しています。いま、厚生労働省のほうで、モデル事業の結果と検証会の結果を元に来年度の実施に向けて最終の検討がされています。

介護サービスのうち、モデル事業が終了し対象となるのは下記の10事業です。

①訪問介護 ②訪問入浴 ③福祉用具貸与 ④通所介護
⑤特定施設入所者生活介護（有料老人ホーム） ⑥介護老人福祉施設
⑦介護老人保健施設 ⑧居宅介護支援 ⑨特定施設入所者生活介護（軽費老人ホーム） ⑩訪問看護
内容として『基本情報項目』と『調査項目』の二つから構成されています。

『基本情報項目』は、介護サービス事業所に係る基本的な事項を利用者が把握するための情報であって、介護サービス事業所が記入した内容がそのまま公表される項目です。

『調査情報項目』は、職員教育の状況など、介護サービス事業所の具体的なサービスの内容、運営等に関する取組状況を利用者が把握するための情報であって、当該事業所が公表しようとする情報に関する根拠資料を調査員が事実確認したうえで公表されることが適当な項目です。

それは「大項目」「中項目」「小項目」からなり、小項目ごとに「確認事項」とこれについて「確認のための材料」が必要となります。

「確認のための材料」とは、研修の記録・マニュアル・看護計画・日々の記録などさまざまなお客が対象となります。記入の仕方は「ある」「なし」の二つだけです。

基本的には、各事業所の責任において情報を公表することとなります。

調査員として、2名の方が事業所を訪問し、「ある」と書

かれている内容に関して、なにをもとに「ある」と答えているかを確認に来ます。

第三者評価と違い「ある」か「ない」かの確認だけでその内容は問わないことになっています。

たとえば、すべて書いたものでなければならないということはないので、既存で発行されている本をマニュアルとして活用しても構いません。ただし、職員一人一人がマニュアルとして周知していることが大切です。

研修のこと・看護計画に対しての記録があるかということなど、いくらやっても記録がないとやったことにならないことも考えられます。ほかの事に関しても、記録しておくことの大切さを感じました。

「介護サービス情報の公表」って、たいへんだなあ〜と思われる方も、大勢いらっしゃると思いますが、私もモデル事業を受けたときにはとても大変なことをするんだと正直思いました。でも、実際に調査を受けてみると、思ったほど大変でないと感じました。

質問事項が何を言っているのかを考えてしまうことも多く、「このことをさしているのかなあ〜」と思いながら資料を用意しました。調査員は、「ある」か「ない」かの判断だけなので「これです」とお見せすればそれで大丈夫でした。ただ、事業者の責任でやることの重さを感じましたが……

調査は、3時間前後かかったところが多かったようです。ないものを無理やりあるにすることもありません。なければ、徐々にそろえていけばいいことです。

細かい内容に関しては、「社団法人 シルバーサービス振興会」「WAMNET」などで検索できますので、ご覧ください。もしわからなければ、わかる範囲でお答えしますので、ご連絡ください。

医療法人財団 秀行会
桜台訪問看護ステーション
所長 馬籠さとみ

〒176-0002 東京都練馬区桜台2-1-13
TEL * 03-5946-5520 FAX * 03-5946-3785

同様のモデル事業を受けたステーション

千駄木訪問看護ステーション
訪問看護ステーションみけ

※12月19日の当医健保会館で開催された「訪問看護をめぐる最新情報」でもこの件について講演がありました。

各ブロックでは11月に入り活動を予定しています。現在のところ城北（第5）ブロック会の活動のみの報告となります。次号は各ブロック会の報告ができると思います。

—城北ブロック（第5）第1回定例会報告—

城北ブロックの第1回定例会は、10月17日午後東京都看護協会の実習室で豊島区・練馬区・板橋区・北区から24ステーションが集まり開催されました。そこで各委員会活動の報告の他、次のような報告と話し合いが行われました。

1. 「第5医療圏看護管理者会」参加の報告

豊島区の「ふくろう訪問看護ステーション」の岩井がブロック代表として「管理者会」に参加した。今後もステーションの意見や要望を伝えながら交流を図って行く予定である。現在入退院に際しての病院とステーションの共通の報告書作成を考えている。(次回開催11月予定)

2. 「介護サービスの情報公開の公表」に関するモデル事業を受けての報告

3. 「東京筋ジストロフィー協会」との交流会

交流会前に北区と練馬区医師会訪問看護ステーションから事例紹介があり、病状の進行・介護状況などの現状を具体的に聞いた後、東京筋ジストロフィー協会会員との意見交換となった。

協会から理事長・三木 隆 様、理事・高見和幸様、理事・佐藤貞夫様に出席していただいた。その中で次のような現状が報告された。

*筋ジストロフィー協会には二つの組織があり、全国と東京都にわかれている。東京都には 患者が250名ほどいる

が介護者のマンパワーの不足が問題である。

*東京都では吸引器の貸し出し事業を行うと 1回/W の訪問看護サービスを入れることになっており、多摩地区では行われているが、特別区である23区内では区により対応が異なり行われていないところが多い。国が直接管理している地方の方が確実に実施されているという現実もある。地域のネットワークがわかりにくく誰に言えばいいのかわからない。

*痰の吸引に関しては、訪問を1回でも多く受けたことで本人だけではなく介護者が休めるが、なかなか訪問が増えないという切実な問題である。

*せめて、呼吸器を使用している患者にはパルスオキシメーターの支給をしてほしい。

このあと複数回訪問でのコストのことなど、医療保険での訪問が収入に結びつきにくいなどステーションからの意見がだされた。

現在、ALS患者に対しては休日、夜間を通し365日24時間看護提供モデル事業に取り組んでいるステーションもあるが、特に医療依存度の高い患者が在宅で安心して過ごしていくために、援助の方法などひとつひとつ事例を積み重ね問題提起していくことが私達訪問看護師の役割ではないでしょうか。(ふくろう訪問看護ステーション 岩井記)

【おしらせ】 伊藤清美さん（ブロック支援委員）

11月末で佐々訪問看護ステーションを退職。お世話になりました。また、一緒に活動しましょう。

「アニョハセヨ」

ようこそTOKYOへ



10月12日、ソウル市看護協会の研修で、日本に来日した6名の看護師たちが、都内の訪問看護ステーションの見学研修に見えました。

東京訪問看護ステーション協議会では、会員である5箇所の訪問看護ステーションを研修場所として提供し、研修協力をしました。半日の研修でありましたが、日本人の家庭に入って実際の暮らしをみたり、訪問看護の場面を見学したりと印象深かったようです。たくさん質問をされて、熱心にメモを取っていかれました。

韓国でも2007年から介護保険が始まるようです。その制度を実施していく先駆的な立場となら

れる看護職として、日本の現状視察は大変参考になったようでした。同じ看護職として、これからの制度開始に大きな活躍を祈っています。

【見学研修に協力した訪問看護ステーション】

- おもて参道訪問看護ステーション
- 浅草医師会立訪問看護ステーション
- 訪問看護ステーションパリアン
- 千住新橋訪問看護ステーション
- 上野訪問看護ステーション



介護者にねぎらいの言葉をかける金さんと林さん



山崎摩耶さんと森山会長を囲んで



ステーション紹介

城北訪問看護ステーション

城北訪問看護ステーションを のぞいて見ると……



城北訪問看護ステーションは東京都看護協会の二番目のステーションとして平成10年に設立されました。

スタートから三年間は毎年所長が交代するという落ち着かない状態でしたが、スタッフは黒字にしなければいけないという意気込みが強く、長い超過勤務も文句も言わずがんばったと聞いています。その結果レスピレーターを装着した利用者さんも開設早期の段階から訪問し、試行錯誤しながら力をつけてきました。今年になってからスタッフの人数もようやく充足され、依頼があってもお断りしないで訪問出来る様になってきました。

当訪問看護ステーションは難病の方の訪問が多く、したがって医療保険での訪問が多くなっています。9月の訪問回数は介護保険181回、医療保険218回という実績でした。難病の方については当ステーションでケアマネをしている方も多く、病気の進行に伴い課題が多くなり四苦八苦しているのが現状です。しかしその課題に直面して学ぶ事も多く、利用者さんや家族と共に戦っているというところです。

当ステーションのメンバー紹介です。『 』の中は本人の声です。

Nさん。ともかく朝早くから夜遅くまで精力的に頑張ります。月に100件の訪問をこなしたりします。利用者さんのためなら身を粉にして動きます。……『私だって疲れているのよ。でも私達がんばらないでどうするのよ。だけどあと5年もしたら仕事しないで楽するんだ』。

Eさん。納得しないと気がすまないのよ、新知識吸収しようと進んで学んでいます。技術・知識ともいっぱい持っているのに皆に配って欲しいのに、書くのが苦手・喋るのが苦手で頭ふくるところです。……『まだまだ足りないけど。研修に出る時間はほとんど私的な時間を使っているんです。何とかしてほしいなあ』。



ステーションのメンバー「どなたがどのつづやきをしているのでしょうか？」

Mさん。当ステーションでは貴重な若手です。小児看護の経験があるので小児の訪問をして子供と共に動き、体を酷使しています。家でも猫ちゃんの介護で体を使っています。……『若手、若手といってあまり期待されても困ります。これから結婚してとんとん子供生んじょうからね。そのときは産休よろしくね』。

Sさん。ステーション経験は浅いのですが訪問看護は長くしてきました。落ち着いて冷静にみんなを見えています。まじめに取り組み的確な意見を吐きます。……『子育て終わって本格的に在宅看護しようとはりきって就職したんだけど、覚えなければならぬこと多くて。それにしても頭が硬くなっちゃって苦労してます』。

Kさん。正直にケアをしようとはがんばります。マッサージもお得意で、むくんだ足がすっかり軽くなり大喜びされています。ステーション周辺の情報を豊富に持っているのよみんなでお知恵を拝借しています。……『私のことおしゃべりだと言って人いるけど、とんでもないわ。いつもとてもおとなしくしているんですよ』。

Wさん。たったひとり看護師でない職員です。一番若いので母さん看護師のパワーに押されていますが、職務に関してはがんこを守っています。……『私も資格を持っていたらよかったわ。電話受けるのもとても大変なんです。でも医療費の事ならなんでも聞いてください。すっかりベテランになりましたから』。

最後に私はというと、老体に鞭打って、みんなのパワーにたじたじしながら、角の方で小さくなって働いています。……“外野が何か言うてうるさいようです。”

こんなメンバーで毎日がんばっているのです。

ターミナルの方の訪問は大変ですが、利用者さんや家族の方から教えられることが多くあります。病院ではもうこれ以上することがないと言われ、でもなんとかしてよくなって欲しいと願っている家族が、立てなくなった、飲み込めなくなった、返事をしなくなったという経過を通して死を受容していったケースを、ある機会に家族の方に発表していただきました。その際訪問看護がどんなに力強い支えになったかということを知り、訪問看護のやりがいを強く感じています。あわただしい毎日ですがみんなで力をあわせて楽しくやっていたらと考えています。……

『でも疲れるね。ゆっくり休みがとりたいたいよ』。

〈今回で協力いただいたステーション〉

城北訪問看護ステーション 所長 田中美喜子

〒179-0081 練馬区北町8-37-22 第5相原ビル202

TEL 03-3931-2231 FAX 03-5922-7744

e-mail:johoku@tna.or.jp

島の看護師の状況や楽しい話について

東京都小笠原村 母島診療所 鮎川奈津子

太平洋にぽつんと浮かぶ南の島、父島と母島。ここ小笠原諸島は、飛行場がなく交通機関が6日に1便の船舶のため、片道25時間もかかる東京都の離島。

父島は、人口2,000人余り医師2名、看護師6名。私はさらにここから2時間船に乗り、人口400人余り医師1名看護師2名の母島診療所で働いています。両島共に、診療所は唯一の医療機関のため各科を問わず診療し、短期間の入院や夜間・休日の急患にも24時間体制で対応しています。

1968年アメリカより返還され、八丈島や内地に強制疎開していた人たちが、返還後帰島して住み、特に父島は、占領中からの在来欧米系の人たちも住んでいます。その多くは、息子や娘達が内地やアメリカにいるため何かあった場合すぐに来ることが出来ません。

また救急の場合、父島では水上飛行艇を、母島はヘリコプターを自衛隊に要請し搬送します。要請から搬送先の病院収容まで10時間以上かかる上、以前は日が暮れると夜間飛行が出来ず、日の出まで待たなくてはなりません。父島は平成13年、母島は平成14年から夜間搬送が可能になりました。

10年前から画像伝送システムが導入され、東京都立広尾病院の専門医師の診断を仰ぎ、治療方法や搬送のアドバイスを受けることができるようになりました。

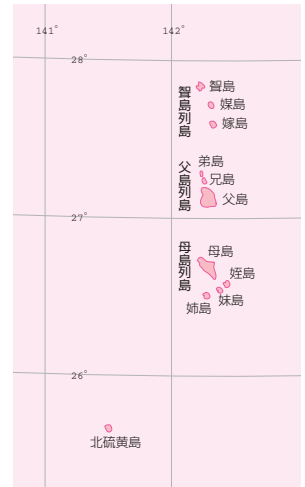
島民、特に高齢者にとって搬送で内地に行くということは、もう二度と帰島出来ないかも知れないという思いがあるようです。

在来欧米系の人たちが亡くなった場合、黒の洋服と靴を履かせるため、初めて処置にあたったときYシャツを着せるのが大変でどうやって着せようかと戸惑ったものです。父島の場合、亡くなったときは社会福祉協議会が葬儀を行い、遺体も迎えに来てくれるのですが、母島は社会福祉協

議会の人員が少ないため、棺は土建業の人が組み立て遺体は私たちが救急車で自宅に送ったりします。

消防署がないため、救急車も患者搬送車として役場の職員や私たち医療スタッフが自ら運転をし、急患の現場や事故現場に行きます。迎えに行くより連れて来てもらったほうが早い場合や現場の救助が困難を要する場合、クレーンで引き上げてもらったり、4トントラックで患者さんを運んでもらったりと、土建業の人たちに協力してもらったこともあります。

診療所は、病院のようにあわただしく時間が過ぎていくことはありません。患者数も少なく、診療も時間をかけてできます。時には、夫婦喧嘩に呼ばれたり、台風で野菜や果物が落ちてしまったので取りに来て欲しいなど言われたりもします。島民と色々なところで接する時間もあり、家族、生活背景に沿った看護が可能になります。保健師、島民の人たちとも連携を持ち、生活状況に合わせた看護をしていくためにスタッフ一同協力して頑張っています。



小笠原諸島の島じま



〒100-2211
東京都小笠原村母島字元地
母島診療所
TEL 04998 (3) 2414
ayukawa@vill.ogasawara.tokyo.jp

去年新しく建てられた、小中学校です。高校は、50km離れた父島の寮に入り通います。(父母は、船で2時間の3日に1度の定期便しかありません。)



(写真右から) 看護師 鮎川奈津子 (島に来て、12年になります。) 医師 伊田 勉 (自治医科大学卒業後、都立病院・離島などを1年から2年ごとにまわっている。ちなみに、今年の4月より母島診療所勤務。2年前は、父島診療所。1年前は利島に勤務。) 看護師 古賀美樹 (島に来て、10年になります。)

行事があると島の婦人会の人たちが集まって、島すしやいろいろな料理をしてくれます。島寿司は、八丈島からの流れで(島の人は八丈生まれの人が多いで) さわらの魚でしょうゆにつけ洋からしで握ります。魚をつけるのは、日持ちするのと、洋からしは欧米系がいたからとも言われています。



わたしのペット：愛犬を紹介します!!

犬は愛玩動物として最近人気急上昇中です。時には疲れたココロを癒してくれる良きパートナーでもあります。そこで今回は当ステーションの職員が飼っている愛犬を紹介しします。街で見かけたら声かけて下さい！一緒にお散歩しましょう！
野崎クリニック訪問看護ステーションPC副担当 小山



ボクは磨呂。
食べる事に命かけてます！
毎食15秒で完食です。
生まれてこのかたゴハン残したことはありません。
ワン!!

僕の名前はチョコ。
家族全員がチョコレート好きで命名されました！僕はいつも留守番ばかりの寂しがりやだワン！
6ヶ月だワン！

ボクの名前はアルフです。なぜアルフかって？7ヶ月で引き取られたボクは、テレビの子供番組のボクたぬいぐるみに似ていることから名付けられてしまった・・・。今は11歳のジジアルフです。

僕はトラ！
3歳。タイガースファンの家に来て強そうな名前だけど、ジェット風船とカミナリは犬の苦手です。



アタチのなまえはルナ。まだ5ヶ月の子犬でちゅ。でも歯はもうオトナ！何でもかじってしまい、ご主人様を困らせているイタズラ小娘でちゅ

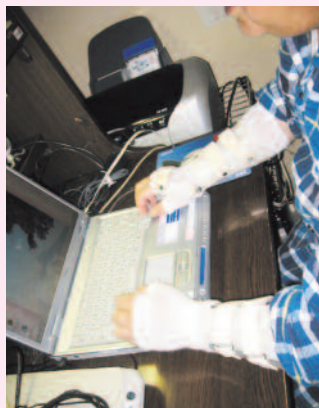


My Boom!

アーティスト発見!!

わたしのはまっているもの：パソコンで絵を描くこと

私は66歳・下町に住む男性です。
30代の頃、リウマチという診断を受けました。
まだ働き盛りの頃で、薬で痛みと闘いながら仕事を続けました。何とか定年まで仕事をしました。定年後、急速に体が動かなくなり、装具や自助具を使いながら一人暮らしをしています。外に出掛ける事もできず、一人で一日中家で過ごすのは何の楽しみもありません。



そこで、ある人の助言でパソコンを購入しました。初めはメル友を作ったりして、メールのやり取りをしていましたが、ネットだけの付き合いには虚栄や嘘が多く、それが嫌になりメールはやめました。
以後、絵を書く事を始めました。絵など書いた事は無かったので、全て自分で勉強していきました。
体が思うように動かなく、すぐに疲れてしまい、パソコ

ンの前に座っていられるのは30分が限度です。なので一枚の絵を書くのに、一週間はかかります。

でも今は、これが唯一の楽しみになっています。これからは自分で書いた絵の、年賀状作りを頑張ろうと思っています。





* 研修委員より

H17年度 第1回目の研修では、病院勤務職員との連携をテーマに掲げ、大勢の方の参加を頂きました。パネルディスカッションでは相互の理解を深められ、アンケート結果からも連携の重要性について再認識していただいたことがわかりました。

そこで、H17年度 第2回研修として、「訪問看護体験研修」を企画しました。研修期間はH18.1.22(月)～26(金)の間で予定しています。病院職員の方へのご案内はすでに発送しましたが、初の研修スタイルですので、お近くの病院へも是非、声掛けて、1人でも多くの方に在宅療養の場面を知っていただく機会となればと思います。ご協力よろしくお願いたします。(曾木)

* 訪問看護推進委員より

タイムリーな情報発信のため、推進委員では研修会を催しました。12月19日の東医健保会館での研修に、皆さま参加されたでしょうか?いよいよ、年明け、制度の改正がは

委員会からの報告

つきりしてきます。それにむけての準備に取りかかりましょう。医行為を介護職が行うに当たり、医療従事者として「解釈」を共通認識しておかなければなりません。医師の立場からの玉木先生の講演は貴重なものです。実り多い、研修であったことと思います。また、このような最新情報を会員の皆さまにお伝えできるようにします。ご期待下さい。(宮崎)

* 広報委員からの報告

私たち協議会の組織を、他の機関や、行政、一般の方にも良く知っていただくためのしおりがもうすぐ出来上がります。会員全員に配付しますので、今一度、協議会についての知識を深めてみて下さい。皆さまの活動に必要な場合は事務局までお問い合わせ下さい。ホームページについては業者と見積もりを出す段階になりましたが、費用対効果や、今後の運営・更新を考えると果たして今がその時期か悩んでいるところです。皆さまのご意見をお寄せ下さい。(天木)

地域ケア・在宅ケアに携わる人のための

コミュニティケア

COMMUNITY CARE

A4判変型 定価1,050円(税込)
「臨時増刊号」5月・10月発行 定価1,575円(税込)
年間購読料/14冊分 定価15,750円(税込)

訪問看護師や看護職のケアマネジャーのための月刊誌。
「地域連携」「スキルの向上」をキーワードに、コミュニティ(地域・在宅)ケアの情報満載です。

年間購読受付中!!

2005年12月号

《第1特集》

「デイホスピス」を知っていますか
—末期がん患者を支える新たなケア

《第2特集》

居宅介護支援事業所 こうすればうまくいく

2005年11月号

《第1特集》

期待したい、在宅ケアを支えるナース
—ホームドクターからのメッセージ

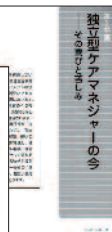
《第2特集》

現場でも役立つ最新訪問看護研修テキスト

2005年10月臨時増刊号

総特集「はじめよう!
フットケア」

も大好評!!



◀幅広い話題を追う「第2特集」

◀あの日野原重明先生の誌上カンファレンスも好評連載中!!



日本看護協会出版会

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2
日本看護協会ビル4F
TEL.03-5778-5751 FAX.03-5778-5760

【コールセンター TEL.0436-23-3271
(ご注文) FAX.0436-23-3272
郵便振替00190-8-168557

<http://www.jnpsc.co.jp>

患者様のQuality Of Lifeの向上が テイジンの理念です。

患者様の旅行を全国ネットでお手伝い。
宿泊先に機器を設置して
お待ちしております。



TEIJIN

■ 酸素濃縮式供給装置

ハイサンゾ® シリーズ
マイルドサンゾ® TO-40S

■ 携帯用軽量酸素供給システム

ウルトラッサ®
+サンゾセーバー® II

■ 酸素飽和度モニタ

PULSOX® シリーズ

帝人在宅医療東京株式会社

東京第1営業所 TEL. 03-3506-4867
東京第2営業所 TEL. 03-3506-4865
東京第3営業所 TEL. 03-3506-4866

多摩営業所 TEL. 042-538-2515
城北呼吸ケア支援ステーション TEL. 03-5964-6070

投稿募集

東京訪問看護ステーション協議会の会報は、会員参加型を目指してします。難しい事を書いて送って下さい、と言っているわけではありません。ステーションや在宅看護とは関係のない笑い話や自慢話、面白かった本や映画、美味しいお店などの話、何でも結構です。また、他のステーションではこんな時はどうしてるの?などの質問でも良いです。

また、編集、取材、デザイン、ホームページ作りにちょっと興味のある方や特技のある方のご協力も大歓迎ですので、気軽にメールしてください。

投稿は、①手書きの原稿をFAXまたは郵便でお送りいただくか、②Wordなどで入力したデータをE-mailに添付してお送り下さい。お写真も掲載可能です。紙焼き、ポジ・ネガ・デジタルデータ、何でもOKです。但し、Word等に写真を貼られた場合は、「元画像」も一緒にご用意いただけると幸いです。また、貴重な資料や写真の返却を希望される方はその旨必ず明記して下さい。皆様からのご投稿を心よりお待ちしております。

訪問看護協議会 入会募集

東京訪問看護ステーション協議会は、都内で活動している訪問看護ステーションの訪問看護師たちを支援していきます。ご入会を心よりお待ちしております。

12月6日現在の会員数

継続会員 253st 新規会員 80st 合計 333st

「広げよう仲間の輪を！手をつなごう未来のために」

果実酒の色深まりし夜の秋
夕ぐれの色なき風の葉ずれかな
辻褄の合はぬ収支に湯がめする

井野ロキエ (91歳)

*訪問看護を受けながら毎日リハビリに励んでいます

編集後記

春のワルツ、夏の香り、秋の童話……と、くれば次に何がくるかファンなら分かるはず！でも、興味のない方には何のこと？ですよ。でも冬のソナタ、俗に冬ソナと言ったら知らない方はいない程有名。そう、これはユン・ソクホ監督の韓国ドラマの四季シリーズの題名なのです。昨年の今頃私は韓国ドラマにハマッてましてそんな訳で、この冬のソワニエが冬のソナタに見えてしまうのです。(単純に語彙だけのことなのですが)

何はともあれ広報の四季シリーズいかがだったでしょうか？ユン・ソクホ監督ではなく天木委員長率いる広報のメンバー、心機一転リニューアルして“思わず読みたくなる広報誌”を合い言葉に1年が過ぎました。さて、来年はどんな感じになるでしょうか！皆様の寄稿お待ちしております。(野崎クリニック訪問看護ステーション 山中)

投稿、広告につきましては、fresca@r3.dion.ne.jp ステーションみけ 椎名までお問い合わせ下さい。

快適な胃瘻ライフをサポートする4種類のカテーテル。



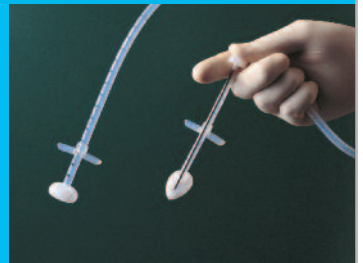
バードウィザード
医療機器承認番号：20900BZY00060000



ガストロボタン
医療機器承認番号：20100BZY00956000



バードガストロ ストミーチューブ
医療機器承認番号：20900BZY00107000



ボンスキー N.B.R.カテーテル
医療機器承認番号：20600BZY01202000

胃瘻交換用カテーテル Replacement Tubes

製造元 **BARD** 製造販売業者
Bard Access Systems
C. R. Bard, Inc.

株式会社 メディコン
本社 大阪市中央区平野町2-5-8 TEL 06-6203-6541 (代)
ホームページアドレス http://www.medicon.co.jp

ケアマネジャー試験合格を
サポートするIGO 通信講座

平成18年度ケアマネジャー講座受講申込受付中

介護支援専門員在宅合格講座

2006年4月改正対応教材

<推薦> 中 島 健 一 (日本社会事業大学社会福祉学部教授)

- ★ ケアマネジャーの約4割が看護師、准看護師として、保健医療の分野で実務経験を積んだ人たちです。特に在宅での療養上の管理を行う「訪問看護ステーション」の訪問看護師の皆さんは、在宅で療養を希望する高齢者にとって、健康管理だけでなく心理面での安心感を与え、介護支援の面でも求められる存在となっています。ケアマネジャーのニーズが高まっている今、早めに資格を取得し、この分野のエキスパートとして活躍ください。



お問い合わせ
資料請求はこちら

Tel.0120-989-148 Fax.0120-989-149 <http://www.i-g-o.com>

教育訓練給付制度 厚生労働省指定通信教育 <教育訓練講座指定番号>13609-011001-0

ケアマネジャー合格サポート
IGO

アイ・ジー・オー ケアマネ事業部 〒177-0051 東京都練馬区関町北1-1 4-2-204 TEL. 03-5991-7240 FAX. 03-5991-7250